

令和7年度

事業計画書

公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団

目 次

1	事業運営の基本方針	2
2	事業の概要	4
3	事業計画	
	スポーツ事業	7
	芸術文化事業	
	音楽部門	12
	演劇部門	17
	美術部門	20
	文芸部門	23
	その他芸術文化部門	28
	生涯学習事業	29
	広報宣伝・友の会事業	32
	施設管理・全館融合事業	33
	財団 30 周年記念事業	35
4	組織図	36

事業運営の基本方針

1 スポーツ事業

- (1) 誰もが身近にスポーツを楽しめるように、スポーツ教室、施設提供等を通じて、市民一人ひとりが目標を持ってライフステージに応じた多様なスポーツ活動に親しむ機会を提供し、市民のスポーツ実施率の向上を図ります。
- (2) スポーツ情報の発信を充実するとともに、様々なスポーツ活動を支える指導者やボランティアの人財育成とその支援に努め、市民の活躍の場を創出します。
- (3) 市民の健康保持や健康増進、介護予防のため、運動習慣を定着させる事業や、スポーツを通じた健康づくり事業を実施します。
- (4) スポーツ団体、事業者との連携・協力により、市民満足度の向上と市民の利用促進につながる事業を展開します。
- (5) 三鷹市と連携しながら、障がい者スポーツの普及や魅力発信を行うとともに、パラスポーツ及び障がいに対する理解を広める事業やインクルーシブ事業を実施します。

※インクルーシブ事業：障がいの有無、国籍、年齢などに関係なく、多様性を認め合い、すべての人が尊重し合って自然に支え合える事業

2 芸術文化事業

- (1) 地域や施設の特性を踏まえたオリジナリティのある公演事業や展示事業を企画し、市民の皆様国内外の優れた芸術文化に親しみ、鑑賞する機会を提供します。
- (2) 市民の自主的な芸術文化活動の場として施設を提供し、その活動を支援するとともに、親しみを持って施設を利用していただけるよう、適正な施設運営に努めます。
- (3) 市民が安全・安心・快適に芸術文化施設を利用することができるよう、施設・設備の予防的な保全に努めるため、計画的な点検と改修を実施します。
- (4) 次代を担う子どもたちに芸術文化の楽しさや素晴らしさを体験する機会を提供することにより、児童・青少年の健全育成に取り組むとともに、市内の学校と連携を図りながら積極的に教育普及事業を実施します。
- (5) 三鷹ゆかりの作家や作品の顕彰事業を推進するとともに、財団が管理する文化施設を適正に維持管理し、「文化の薫り高いまち・三鷹」を発信します。
- (6) 年齢、文化の違い、障がいの有無等にかかわらず、誰もが気軽に様々な手法で、多様な芸術文化に触れられる機会を提供します。

3 生涯学習事業

- (1) 市民一人ひとりのライフスタイルやライフステージに沿った学習機会を提供するとともに、生涯学習の情報を提供し、学習相談、学びを支援するコーディネートの機能の充実を図ります。
- (2) 多様化・高度化する市民ニーズに対応した講座を開催し、市民満足度の向上を目指します。
- (3) 市民の主体的な生涯学習活動を支援するとともに、障がい者、子育て中の市民など学習困難な方々への学習機会を支援します。

- (4) 三鷹市芸術文化協会、事業者との連携を図りながら多彩な生涯学習事業を展開します。
- (5) 生涯学習ボランティアを育成し、市民が学習成果を地域に還元する「学びと活動の循環」を構築することで、人とのつながりを創出します。

事業の概要

令和7年度に三鷹市スポーツと文化財団は、設立30周年を迎えます。長きにわたりご支援いただいた皆様への感謝を表すとともに、多様化した施設や事業の更なる周知を図るため、30周年記念事業の実施を予定しています。また、各事業においては、事業運営の基本方針に基づき、市民生活に活力を与えられるような魅力ある事業を引き続き実施していきます。

スポーツ事業では、市民のニーズを的確にとらえ、誰もが気軽に参加できる事業を実施し、生涯にわたり健やかなスポーツライフを過ごせるよう支援していきます。働き世代、子育て世代、高齢世代、次世代を担う子どもなど各世代のライフステージとライフスタイルに応じた様々な「スポーツ教室事業」及びバドミントン、卓球等の種目別に個人に施設を貸し出す「個人開放事業」を実施します。また、市民の健康の保持増進、介護予防等のために、専門的な知識・経験を持ったスタッフにより一人ひとりに合った運動プログラムを提供する「健康・体力相談事業」など健康づくり事業を充実させます。さらに、三鷹市スポーツ協会、三鷹市ゆかりの企業、大学等と連携し運動習慣の定着に向けてより多くの市民に運動する機会を提供するとともに、誰もが楽しめるインクルーシブな大会等を運営する「スポーツイベント事業」、「親子野外キャンプ教室」、「障がい者スポーツ教室事業」などを実施します。

芸術文化事業の各部門では、各文化施設においてオリジナリティのある事業を展開することにより、「文化の薫り高いまち・三鷹」を目指して芸術文化の振興に努めていきます。

音楽部門では、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアをはじめとする国内外トップクラスの演奏家・演奏団体に加え、今後の活躍が期待される若手やジャンルや時代の垣根なく独自の演奏活動を展開するアーティストによる公演を開催し、多様な音楽に触れられる機会を充実させます。また知的好奇心を掻き立てるような教育プログラムとしてのマスタークラス(公開レッスン)も実施します。みたかジュニア・オーケストラは、新しい指揮者を迎え、演奏技術の向上と活動の充実を図るとともに、団員募集に力を入れていきます。令和7年度は、新潟市で開催する「ジュニアオーケストラ・フェスティバル」への出演を予定しています。また、市内公立小学校全校への訪問演奏(三鷹市教育委員会からの受託事業)や未就学の子どもと家族を対象としたファミリーコンサートを実施し、幼い頃から音楽に親しめる環境作りに努めます。

演劇部門では、若手劇団の登竜門として定着しつつあるMITAKA“Next” Selectionをはじめ、今後の活躍が期待される劇団による、三鷹だけでしか見られない、どの世代の人にも見応えを感じていただける演劇企画を実施します。また、三鷹市ゆかりの作家太宰治を偲び太宰治朗読会も開催します。映画事業は、年齢にとらわれることなく、それぞれの人生の、それぞれの生きがいとともに、輝きながら生きている人たちが主人公の映画を集

めた上映会を開催します。さらに、親しみやすい伝統芸能として多くの集客を得ている落語公演・狂言公演では、人気も実力も兼ね備えた落語家・狂言師による公演を開催します。

美術部門では、三鷹市ゆかりの作家「吉田千鶴子展」と、江戸時代から続く京都の染屋工房の仕事をとおして日本の伝統文化と染色技術が培ってきた作品の数々を紹介する「染司(そめのつかさ)よしおか」展の2展示事業を実施します。異なったジャンルの展示により来場者層を広げるとともに、三鷹市教育委員会やNPO団体との連携を図り、教育普及事業の展開を探ります。また、三鷹市との共催事業として「三鷹天命反転中!!——荒川修作+マドリン・ギンズの死なないためのエクササイズ」展を令和6年度から続く会期で開催するとともに、昨年度から引き続き「アール・ブリュットみたか」を、財団を事務局として実行委員会形式で実施し、多様な芸術文化に触れられる機会を提供します。

文芸部門では、三鷹市山本有三記念館において空調工事に伴う休館が予定されているため、三鷹市芸術文化センターにおいて山本有三に関する出張展を開催します。また、市場に流通していない有三作品を文庫本として復刊し、再開館後の企画展への関心につなげます。休館中も資質向上・維持のためのガイドボランティア講座を継続します。教育普及事業では、子どもを対象とする「おはなし会」のほか「アフタヌーン・ミニコンサート」、「文選」おしごと体験ワークショップ」を実施します。太宰治文学サロンでは、来館者がコーヒー等を飲みながら「山内祥史文庫」や寄贈書籍を閲覧できるブックカフェとしてのスペースを提供するほか、太宰治作品朗読会を毎月開催します。太宰治展示室「三鷹の此の小さい家」では、開室の契機となった「津島家寄託資料」をはじめ、開室から5年の間に市に寄贈・寄託された資料や、市が収集に努めた資料を一堂に公開します。また、太宰治の弟子 小山清に関する展示会、太宰治の魅力を発掘する読書感想会を開催します。太宰治文学サロンと太宰治展示室の回遊性を高めることにより「太宰が生きたまち三鷹」の発信力を更に強化します。みたか井心亭では、茶道・華道体験教室及び「夜のお茶を楽しむ会」を開催し、日本の伝統文化を体験できる機会を提供します。三鷹市吉村昭書斎では、戦後80年に関連した吉村の戦史小説の紹介や芥川賞受賞60年・三鷹市名誉市民推挙10年に関連して津村節子の作品世界を紹介する企画展示を開催します。また、交流棟では朗読会、茶室では吉村・津村が編集者らと一緒に開催した句会の体現、夫婦作家についての講演会を開催し、加えてガイドボランティア事業により来館者サービスの充実を目指します。

生涯学習事業では、年間を通じて実施する市民大学事業をはじめ、みたか学、人財養成講座、趣味・教養講座、小・中学生向けの体験講座を実施し、多くの市民に学習の機会を提供します。また、令和6年度からスタートした、「子どもふらっとプレイス事業」は見守りボランティアを新規募集し、多世代交流を図りながら子どもの居場所を創出します。「元気創造プラザ連携講座」では社会福祉協議会と連携し、利用者の拡充を図ります。そのほか、生涯学習センターの自主グループが中心となって開催する生涯学習センターフェスティバルや、新規に実施する生涯学習人財バンク「まちの先生」を活用した「まちの先生講座」により「学びと活動の循環」を推進します。

広報宣伝・友の会事業では、情報誌（MARCL+）と広報紙（Mitaka Sports and Culture News）を財団全体の事業を発信する主要な媒体と位置付け、情報発信の充実を図るとともに、ホームページやX（旧ツイッター）、プレスリリースなどを利用した広報活動を行います。また、友の会会員への特典では、公演チケットに関するサービスに加え、引き続きスポーツ教室体験チケットの提供を実施します。

施設管理・全館融合事業においては、設備、備品の適切な維持管理を行い、市民が安心して訪れることができる快適な施設環境を整えるとともに、利用者サービスの向上に継続的に取り組み、施設利用率の向上を目指します。令和7年度からは、7月にオープン予定の三鷹市井口グラウンドの指定管理者として、施設の管理運営に取り組んでいきます。

三鷹中央防災公園・元気創造プラザについては、令和6年度に引き続き全館融合事業を実施し、市民にとってさらに親しみやすい場所となることを目指します。

<事業分類の説明>

自主事業（定款第4条 第1号事業）

公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団（以下「財団」という。）が、三鷹市等から助成を受け、主体的に企画運営するスポーツ、芸術文化及び生涯学習の振興に資する事業

指定管理事業（定款第4条 第2号事業）

指定管理者の指定を受けた財団が実施するスポーツ施設、文化施設、生涯学習施設及び公園等の管理運営に関する事業

受託事業（定款第4条 第3号事業）

専門性を有する財団が、三鷹市等の委託を受けて行うスポーツ事業、芸術文化事業及び生涯学習事業

教育普及事業

芸術文化事業（音楽・演劇・美術・文芸・その他）において、市民の興味、関心等を高めるために実施しているワークショップや講座などの体験・参加型プログラム、若年層向けの育成型プログラムなどの事業

<各事業における表記の説明>

新規 …令和7年度に新規に実施する事業

ただし、コンサートや展示などその事業自体が、新規に実施されるものは除く。

スポーツ事業

<令和7年度の特徴>

- ★1 スポーツ教室事業を中心に、受託事業者、三鷹市スポーツ協会等と連携し運動習慣の定着に向けてより多くの市民に運動の機会を提供します。
- ★2 地域連携事業では、ネーミングライツを取得している日本無線株式会社と連携し、社会人リーグの選手によるトップレベルの指導を通じてスキルアップを目指す「大人のバレーボール教室」と「ミニバスケットボールクリニック」を開催します。
- ★3 令和6年度にセントラルスポーツ株式会社と連携して実施した「着衣水泳体験教室」を、回数を拡充して実施します。
- ★4 障がい者の社会的自立や活動の場を推進するため、障がい者を対象としたスポーツ事業を財団と連携して実施する事業者の活動を支援します。

自主事業（8事業）

1 健康・体力相談事業

健康・体力づくりを支援する専門的な知識・経験を持ったスタッフが、トレーニング室で一人ひとりに合った運動プログラムを提供する「健康・体力相談事業」を実施します。事業のPRを強化することなどにより利用者数の増加を目指し、市民の健康増進を図ります。（予約制）

2 スポーツ教室事業 ★1

スポーツ教室では様々な世代の方の、各自の体力やスキル・レベルの違いに対応したプログラムや介護予防などを目的としたプログラムを実施します。また、子育て世代をターゲットに、子供がキッズ教室を受講中に保護者が同時刻にワンコイン（500円）で受講することができる教室を実施します。運動習慣の定着に向けて、引き続きスポーツ教室において「三鷹体操」又は「みたかダンス」を取り入れるほか、かけっこ教室等の屋外スポーツ教室の充実など、より多くの市民に運動の機会を提供します。各4クール（1クール3か月）

① 定期教室	1クール	100教室	計	400教室
② ワンコイン教室	1クール	18教室	計	72教室
③ パーソナルスイム教室	1クール	18教室	計	72教室
④ 屋外スポーツ教室		6教室	計	6教室

3 地域連携事業 ★2

(1) 親子バスケットボール教室（協力：日本無線株式会社）

親子で参加する教室を通じて、親子のふれあいや参加者同士の交流の場となるよう「親子バスケットボール教室」を開催します。 1回

(2) 大人のバレーボール教室（協力：日本無線株式会社）

社会人リーグの選手によるトップレベルの指導を通じてスキルアップを目指す「大人のバレーボール教室」を開催します。また、事業後に行われる社会人リーグ戦の観戦を促し、更なるバレーボールの普及と技術向上に寄与します。 1回

(3) ミニバスケットボールクリニック（協力：日本無線株式会社）**新規**

社会人リーグの選手によるトップレベルの指導を通じてスキルアップを目指す「ミニバスケットボールクリニック」を新たに開催します。また、事業後に行われる社会人リーグ戦（ライブ配信も予定）の観戦を促し、更なるバスケットボールの普及と技術向上に寄与します。 1回

(4) 親子野外キャンプ教室（協力：国際基督教大学）

屋外での活動を通じて友だちとの遊びからコミュニケーション能力を育み、体を動かすことの楽しさを体験してもらうことを目的に「親子野外キャンプ教室」を開催します。 1回

4 三鷹市スポーツ協会等との連携事業

(1) ちびっこ水遊び教室

三鷹市スポーツ協会加盟団体の三鷹市水泳連盟と連携し、就学前の子どもの水慣れと親子のコミュニケーションを目的に「ちびっこ水遊び教室」を開催します。 1回

(2) 着衣水泳体験教室 ★3

水中で衣服を着用した状態ではどれだけ動きが制限されるかを体験し、どうすれば自分の命を守ることができるかを学ぶ「着衣水泳体験教室」を拡充して開催します。 2回



着衣水泳体験教室

(3) すもう体験教室

三鷹市スポーツ協会加盟団体の三鷹市相撲連盟と連携し、初めて相撲を体験する幼児から小学3年生までの親子と小学4年生から6年生までの児童を対象に「すもう体験教室」を多目的体育室で開催します。 1回

5 スポーツを通じた障がい者支援事業 **新規** ★4

障がい者を対象に定期的なスポーツ教室を開催し、障がい者の社会的自立や活動の場創出等に貢献している事業者等の活動を支援します。財団と連携し事業を実施する事業者に対して無償で施設を貸し出すとともに、当該スポーツ教室に通う市民等への補助金交付制度の創設を検討します。

6 三鷹市との共催事業（スポーツイベント事業）

(1) みたかスポーツフェスティバル

「みたかスポーツフェスティバル」を三鷹市と共催することにより、著名人による親子体操教室、ボッチャ体験会、パラスポーツ体験会や展示等を開催し、スポーツに親しむ機会の提供やSUBARU総合スポーツセンターの利用の促進を図ります。 1回

(2) 三鷹市民駅伝大会

「三鷹市民駅伝大会」を三鷹市と共催することにより、市民スポーツの推進と交通安全、防犯、青少年の健全育成などの啓発を図り、明るく健康的な市民生活と活力に満ちたまちづくりに寄与します。また、関連講座として「ランニングのためのコンディショニング講座」を開催します。 1回・1講座

(3) ボッチャみたかカップ

「ボッチャみたかカップ」を三鷹市と共催し、パラリンピックの正式種目でもあった「ボッチャ」を、幼児から大人まで、障がいの有無にかかわらず幅広い層で楽しみます。市内におけるボッチャの普及や多世代交流を進め、パラスポーツ及び障がいに対する理解を広める機会を提供します。 1回

(4) 東京ボッチャ選手権大会（兼関東選手権大会東京予選会）

東京ボッチャ協会及び三鷹市と「東京ボッチャ選手権大会」を共催し、障がい者スポーツの普及や魅力発信、障がいへの理解を広める機会を提供します。当該選手権は、令和4年度から毎年三鷹市で開催されている大会です。 1回

7 子どもの運動習慣定着事業

日本女子体育大学との連携により令和5年度から子どもの運動能力測定や親子対象の運動遊び体験などを実施してきましたが、これまでの運動能力測定の結果等を踏まえ、三鷹市の子どもが苦手とする「投げること」に特化した基礎的動作習得事業を実施します。 2回

8 財団 30 周年記念特別スポーツ教室及び講演事業 財団 30 周年記念事業

セントラルスポーツとの連携によりオリンピック等を招待し、スポーツと文化財団 30 周年記念企画として特別スポーツ教室及び講演会を無料で開催します。 1 回

指定管理事業（4 事業）

1 障がい者スポーツ教室事業

(1) 障がい児サッカー教室

支援が必要な未就学児と小学生等を対象に、スポーツのきっかけづくりとなる初心者向け「障がい児サッカー教室」を開催します。 2 回

2 種目別個人開放事業

少人数でもスポーツを楽しむことができるよう、個人を対象とする体育施設の「種目別個人開放事業」を実施し、SUBARU総合スポーツセンターの利用の促進を図ります。

- | | |
|------------|-----------|
| ① 卓球 | 週 1 日～2 日 |
| ② バドミントン | 週 1 日～2 日 |
| ③ ヨガ、ストレッチ | 週 1 日～2 日 |
| ④ バスケットボール | 週 1 日～2 日 |
| ⑤ ボルダリング | 週 1 日～2 日 |

3 スポーツボランティア支援事業

(1) 熱中症対応講習会

スポーツ大会などのイベント開催時の熱中症予防策や発症した方に対する適切な対処法を学ぶ「熱中症対応講習会」を開催します。 2 回

(2) 普通救命講習会

スポーツ大会などのイベント開催時に事故などが発生したとき、救急隊員が到着するまでの間にとるべき適切な対応を学ぶ「普通救命講習会」を開催します。 2 回

(3) 障がい者支援スキル講習会

スポーツ大会などのイベント開催時に障がいのある方が、楽しく安心してイベントに参加していただけるよう、必要な知識やスキルを学ぶ講習会を開催します。 1 回

4 弓道・アーチェリー講習会事業

(1) 弓道初心者・初級者講習会及び技量認定会

弓道未経験者や初心者、一定の技量を持つ初級者を対象として講習会を開催します。また、技量認定会において個人・団体利用時に必要となる技量の認定と施設使用のためのオリエンテーションを実施します。 36 回（月 3 回）

(2) **アーチェリー初心者・初級者講習会及び技量認定会**

アーチェリー未経験者や初心者、一定の技量を持つ初級者を対象として講習会を開催します。また、技量認定会において個人・団体利用時に必要となる技量の認定と施設使用のためのオリエンテーションを実施します。 48回（月4回）

受託事業（1事業）※三鷹市からの受託事業

1 三鷹市総合保健センターとの連携事業

(1) **体成分測定と簡単運動教室（特定健診受診促進事業）**

特定健診を断続的に受診している方を対象として、体成分測定による詳しい診査結果の説明を行い、生活習慣病予防・改善を目指した簡単運動教室を開催します。 4回

(2) **特定健診フォローアップ教室**

特定健診を受診した方のうち、診査結果が一定の値を超えた方を対象として、3か月コース（月1回）の運動教室を開催します。1か月目と3か月目に体成分測定を行い、運動効果を実感することにより、生活習慣病予防・改善のための運動習慣を身に付けることを目的としたフォローアップ教室を開催します。 2回

スポーツ事業合計13事業（令和6年度比2事業増）

芸術文化事業

音楽部門

<令和7年度の特徴>

- ★1 財団設立30周年を記念して、毎年開催している「沼尻竜典によるモーツァルト／ピアノ協奏曲全曲シリーズ」においてゲストピアニストを招き、沼尻竜典と2人で、2台のピアノとオーケストラによる「ピアノ協奏曲第7番K.242」を演奏します。
- ★2 名立たる国際コンクールの受賞歴がある才能豊かな20代のピアニスト、藤田真央、中川優芽花が登場します。前者は師ゲルシュタインとのデュオ、後者はソロ・リサイタルでご注目いただきます。

自主事業（15事業）

1 鑑賞事業（12事業）

- (1) トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア ★1 **財団30周年記念事業**



沼尻竜典



©Yusuke Takamura

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア

芸術文化センター風のホールを活動拠点とする室内オーケストラ、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアの定期演奏会を2公演開催します。同楽団の音楽監督は、びわ湖ホール芸術監督で、神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督も務めている三鷹市出身の三鷹市名誉市民 沼尻竜典です。第91回定期演奏会でのモーツァルト ピアノ協奏曲全曲シリーズでは、財団30周年記念事業として、ゲストピアニストを迎えて、2台のピアノとオーケストラによる「ピアノ協奏曲第7番K.242」を演奏します。各公演とも公開リハーサルを行うほか、沼尻竜典による市内小学校への訪問授業を実施します。 2公演（第91回定期演奏会・第92回定期演奏会）・3講座

(2) **フライブルク・バロック・オーケストラ with クリスティアン・ベザイデンホウト**

2017年に結成30周年を迎えたドイツの名古楽アンサンブル、フライブルク・バロック・オーケストラ（以下「FB0」という。）は、2018年10月以来7年ぶり5度目の登場となります。今回は、「FB0」の首席客演監督であり「モーツァルトの再来」とも称されるフォルテピアノの天才、ベザイデンホウトとの共演で、モーツァルトのピアノ協奏曲2曲をメインに据えたプログラムを披露します。 1公演 *令和3年度振替公演

(3) **前橋汀子 ヴァイオリン・リサイタル**

2022年に演奏活動60周年を迎えたヴァイオリニスト、前橋汀子のリサイタルを開催します。共演は、2007年第3回仙台国際音楽コンクール第1位、2011年ミュンヘン国際コンクール特別賞受賞の実力派ピアニスト、津田裕也。ブラームスのヴァイオリン・ソナタを中心としたプログラムをお届けします。 1公演

(4) **リトルキャロル コンサート**

作曲家の久石譲を父に持つヴォーカリストの麻衣。ジブリ作品や映画『ハリー・ポッターと死の秘宝 PART 2』オープニング・テーマ、NHKスペシャルドラマ『坂の上の雲』第3部主題歌の歌唱でも知られる彼女が音楽監督を務める「リトルキャロル」は、現NHK東京児童合唱団の卒団生により1996年に結成された女性コーラスグループで、ポップスとクラシックが融合した独自の世界観を築き上げています。麻衣の透き通る歌声とリトルキャロルの聴き手に寄り添う温かなハーモニーをお届けします。 1公演

(5) **フランチェスコ・トリスターノ ピアノ・リサイタル**

ピアノという楽器一つで、バロック、クラシック、ジャズ、そしてテクノを縦横無尽に行き交う演奏活動を続ける唯一無二の音楽家、フランチェスコ・トリスターノ。自ら立ち上げたレーベルで、バッハの鍵盤作品全曲録音のプロジェクトを開始した彼がバッハのトッカータほかと日本初演作品を含む自作曲を組み合わせたオリジナルなプログラムを演奏します。 1公演

(6) **アリーナ・イブラギモヴァ 無伴奏ヴァイオリン・リサイタル**

バロック音楽から委嘱新作までピリオド楽器とモダン楽器の両方で演奏するアリーナ・イブラギモヴァ、風のホール初の無伴奏リサイタルです。未来の巨匠がヴァイオリン一本で描く音楽の宇宙に期待します。 1公演

(7) **ティボー・ガルシア ギター・リサイタル**

世界が認めるギター界の逸材、ティボー・ガルシアは、GFA(Guitar Foundation Of America)国際ギターコンクール(2015)など各地の国際ギターコンクールを6度受け、全てで優勝したという経歴の持ち主です。圧倒的な演奏技術と洗練されたギターの響

きと音の美しさで、聴衆の心を捉えており、日本では、2019年11月公開の映画「マチネの終わりに」に天才ギタリスト役で登場したことで目も注がれました。風のホールには2023年6月に引き続き2度目の登場です。 1公演

- (8) セバスチャン・ジャコー（フルート）&吉野直子（ハープ） デュオ・リサイタル
「フルート界のロックスター」とも評されるセバスチャン・ジャコーと、名実ともに日本のハープ界を牽引してきた第一人者であり、世界的な名手や巨匠たちと共演を重ね続ける吉野直子とのデュオ・リサイタル第2弾。令和6年度開催の公演は満席のお客様を迎え、好評を博しました。吉野直子は国際基督教大学出身。三鷹に所縁のある国際的なアーティストです。 1公演

- (9) 中川優芽花 ピアノ・リサイタル ★2

ドイツ生まれ、ドイツ育ちの中川優芽花は藤田真央、河村尚子がかつて優勝したスイスの難関、クララ・ハスキル国際コンクールに2021年、19歳で優勝。ウィーン・コンツェルトハウス、ロンドンのウィグモア・ホール、ヨーロッパ屈指の音楽祭「ヴェルビエ音楽祭」にも出演し、日本の主要オーケストラとの協演でも話題です。成長著しい驚くべき才能の「いま」にご注目いただきます。 1公演

- (10) キリル・ゲルシュタイン&藤田真央（2台ピアノ） ★2

ルービンシュタイン国際ピアノコンクール優勝（2001年）、14歳で渡米しジャズの名門バークリー音楽大学で学んだという異色の経歴を持つ現代最高のピアニストの一人と目されるキリル・ゲルシュタイン。ベルリンのハンス・アイスラー大学でゲルシュタインに師事し、日本から世界に羽ばたく若手ピアニストとして近年注目される藤田真央。この二人によるデュオ・コンサートを開催します。 1公演

- (11) イザベル・ファウスト（ヴァイオリン）&アレクサンドル・メルニコフ（ピアノ）
デュオ・リサイタル

あらゆる時代と様式の楽器に精通し、芸術的探究心と豊かな知性を併せ持つ現代最高峰のヴァイオリニストの一人、イザベル・ファウスト。伝説の巨匠リヒテルにその才能を認められ、いまや若き巨匠として注目されるピアニスト、アレクサンドル・メルニコフ。長年にわたり共演を重ねる両者は深い共感と信頼で結ばれた世界屈指のデュオともいわれ、聴衆や専門家から非常に高い評価を獲得しています。19世紀末から20世紀に活躍したロシア、ドイツ、イタリアの作曲家の作品から成る今回のプログラムは必聴です。 1公演

(12) ジャン・ロンドー チェンバロ・リサイタル

イマジネーション豊かな演奏で聴衆の心を惹きつけるフランス気鋭のチェンバロ奏者、ジャン・ロンドー。バロック、クラシック、ジャズへの好奇心を持ち合わせており、従来のチェンバロ奏者のイメージを一新させたユニークな存在として知られています。今回披露するのは、前回の「ゴルトベルク変奏曲」に続く、「オール・バッハ・プログラム」です。初登場した令和5年度にも開催し、受講生及び聴講生から確かなご支持を得たマスタークラス（公開レッスン）を今回も行います。 1公演 1講座

2 教育普及事業（3事業）

(1) みたかジュニア・オーケストラ **財団 30周年記念事業**



10月及び3月に風のホールで恒例の演奏会を開催します。また、市内のコミュニティ・センターなどの訪問演奏会のほか、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア定期演奏会開演前のプレ・コンサート、山本有三記念館アフタヌーン・ミニコンサート、財団30周年記念特別コンサートに出演するなど、演奏機会の充実を図り、知名度アップに向けた取組を行います。また3年に一度開催される「ジュニアオーケストラ・フェスティバル」に出演します。 6公演

(2) ファミリーコンサート

乳幼児のいるご家族を対象にしたコンサートを2公演実施します。「赤ちゃんからのクラシック」では、クラシックの名曲を中心に童謡やジブリ映画の曲、オペラやミュージカルの人気作品を織り交ぜた選曲を行います。「絵本と音楽のコンサート」では、絵本の読み聞かせを中心としたコンサートを星のホールで実施します。 2公演

(3) 風のホールでピアノを弾こう

小学生から高齢者までの幅広い年齢層の方々を対象に、財団所有のスタインウェイ社製とベーゼンドルファー社製のフルコンサートグランドピアノを弾くことができる機会を三鷹市民限定枠と一般枠に分けて提供します。 4講座

(4) 鑑賞事業に関連したワークショップ・講座等 **再掲**

ジャン・ロンドー チェンバロ・マスタークラス

受託事業（1事業） ※三鷹市教育委員会からの受託事業

1 教育普及事業（1事業）

(1) 小学校訪問演奏事業

市内の小学校を訪問し、音楽室等で演奏家によるクラシック音楽の生演奏と演奏家と小学生がコミュニケーションを取りながら楽器に親しむ機会を提供します。 30 講座（1日2講座・15小学校）

音楽部門合計 16 事業（令和6年度比増減なし）

演劇部門

<令和7年度の特徴的な取組等>

- ★1 大人の鑑賞にも十分堪える舞台を作り、次の世代を担っていくであろう若手劇団を集めて開催する MITAKA“Next”Selection を本年度も開催。出演した多くの劇団が、その後飛躍を遂げていることから、演劇界の登竜門として注目を集めています。演劇を楽しむ多くの市民の刺激となり、演劇の裾野が広がることを期待します。
- ★2 日本独自の庶民的な芸術文化である落語や講談において、立川志の輔、春風亭昇太、立川志らく、林家たい平、柳家喬太郎、春風亭一之輔、神田伯山、桂宮治といった、人気と実力を兼ね備えた出演者の魅力あふれる落語会や講談の会を数多く開催していき、市民の方にお楽しみいただきます。

自主事業（27事業）

1 朗読事業（1事業）

(1) 「太宰を聴く」～太宰治朗読会～第24回

今もなお人気の衰えることのない太宰治作品の朗読会を桜桃忌の時期に開催します。過去の公演はいずれも完売となっており、大変人気の高い事業です。出演者は、現在検討中です。 1公演

2 演劇事業（3事業）

(1) 劇団アンパサンド

想像力を駆使して、演劇だけが持つダイナミズムを、余すところなく観客に届ける舞台を作り続ける「劇団アンパサンド」。そのセリフの面白さと、巧みな構成力、そしてすべての役者の魅力を最大限に引き出し、全体のうねりを作り上げる見事な演出力で、今後に最も期待される劇団のひとつです。何気ない日常が、ダイナミックに躍動していく、演劇ならではの圧倒的な舞台を、お楽しみいただきます。 12公演

(2) MITAKA “Next” Selection 26th（若手劇団フェスティバル） ★1

大人の鑑賞にも十分堪える舞台を作り、次の世代を担っていくであろう若手劇団を集めて開催する演劇フェスティバルの26回目です。出演した多くの劇団が、その後飛躍を遂げていることから、演劇界の登竜門として注目を集めています。演劇を楽しむ多くの市民の刺激となり、演劇の裾野が広がることも期待します。 24公演

(3) 劇団普通「秘密」

老夫婦の暮らす一軒家で、少し前から普段は見かけぬ娘が生活をしている。地方の何の変哲もない小さな家庭を舞台に、そこに生活する者の埋もれそうな小さな声を聞く、全編茨城弁で紡ぐ家族の物語、『秘密』。

その筆力と演出力に大きな期待を集める「劇団普通」の石黒麻衣が、高齢化社会や親の介護の問題の中から浮かび上がる人間関係を、深く鋭く描いた、どの世代の胸にも響く、珠玉の会話劇です。12公演



『秘密』2022年4月／王子小劇場／撮影：福島健太

3 映画事業（1事業）

(1) CINEMA SPECIAL「生きがいととも、人生は続く。」～歳を重ね、それぞれに輝く、映画特集～

年齢にとらわれることなく、それぞれの人生の、それぞれの生きがいととも、輝きながら生きている人たちが主人公の映画を集めました。誰しにも訪れる人生の後半戦に、力が湧いてくるような洋画や邦画の良作を、星のホールの大きなスクリーンでお楽しみいただきます。12公演

4 落語・講談事業（20事業）

(1) 落語・講談（19事業） ★2

人気と実力を兼ね備えた魅力あふれる出演者をお迎えしての落語会や講談の会を、数多く開催します。

<出演予定>

柳家さん喬、柳家権太楼、柳亭市馬、立川志の輔、春風亭昇太、立川志らく、柳家花緑、林家たい平、柳家喬太郎、瀧川鯉昇、古今亭菊之丞、桃月庵白酒、三遊亭兼好、春風亭一之輔、古今亭文菊、神田伯山、桂宮治 ほか 30公演

(2) こども寄席「ぼくも、わたしも、寄席で大笑い その25」

こども寄席は、小学生に生の演芸の魅力を伝える「小学生以上の回」と、0歳児から入場可能ということで子育て世代に大変好評をいただいている「未就学児の回」の2公演を開催、本年度はメインの出演者として、TV番組「笑点」でも大人気で、実生活でも3人のお子さんのお父さんでもある春風亭一之輔さんにご出演いただきます。また、毎年大評判の「未就学児の回のお客様係を小学校4年生から6年生に担ってもらう体験講座」を引き続き実施します。 2公演1講座



春風亭一之輔（出演）撮影：キッチンミノル



過去のお客様係体験講座風景

5 古典事業（2事業）

(1) 野村家・茂山家「東西狂言の会」

毎回完売するほどの好評を博している、野村万作・野村萬斎親子と関西狂言の茂山家との競演で贈る「東西狂言の会」を実施します。 1公演

(2) 江戸系あやつり人形劇団「結城座」 **財団30周年記念事業**

財団設立30周年を記念して、芸術文化センターのこけら落とし公演に出演した団体による公演を実施します。公演日は、芸術文化センター開館記念日の11月3日を予定しています。 1公演

6 教育普及事業

(1) こども寄席「ぼくも、わたしも、寄席で大笑い その25」関連講座 **再掲**

「未就学児の回のお客様係を小学校4年生から6年生に担ってもらう体験講座」

演劇部門合計 27 事業（令和6年度比増減なし）

美術部門

<令和7年度の特徴>

- ★1 三鷹市ゆかりの作家である吉田千鶴子。初期抽象油彩画から版画までの数々の作品に資料を加え、ジェンダーを含む新たな視点からその全貌を紹介する回顧展を開催します。
- ★2 京都の染屋工房「そめのつかさ染 司 よしおか」とその仕事を紹介する展覧会を開催します。2018年開催のタータン展以来となる工芸の展示で、古代から現代まで続く植物染めと人々の暮らしとの関わりも含めて様々な切り口を用意します。

自主事業（3事業）

1 展示事業（2事業）

(1) 吉田千鶴子展（仮称） ★1

吉田（旧姓：井上）千鶴子（1924－2017）は、戦後に前衛油彩画から出発し、1950年代中頃から版画家として活躍しました。1953年に美術家・吉田穂高（1926－1995）と結婚し、1967年からは三鷹市に居住しました。結婚以降は吉田穂高の伴侶、あるいは彼の父親である吉田博を筆頭とした吉田家の一員としての文脈で取り上げられることが多く、当館で2009年に開催した「THE YOSHIDA FAMILY展」でも、同様の視点で千鶴子の作品を紹介しています。

一方で、2020年前後より日本の美術界においてもマイノリティー—この場合は女性—に対する構造的差別への問題意識が高まってきています。吉田（井上）千鶴子のようにパートナーとの出会いがその後の創作活動と深く結びついた作家においては、当時の社会規範に沿った解釈が優先され、吉田（井上）千鶴子という作家の成り立ちに対する検証が充分になされているとは言えません。本展では、新たにジェンダーの視点から作品資料や作家の周辺人物との関係を見直し、前衛油彩画から版画にいたる彼女の作品を今までとは異なる観点から紹介します。

あわせて、関連ワークショップを開催します。 1展示・1講座



吉田千鶴子 《群れる蝶》1977年
亜鉛凸版・木版

(2) 日本の色—^{そめのつかさ}染司よしおか 吉岡更紗の仕事 (仮称) ★2

「染司よしおか」は、京都の地で江戸時代から200年以上続く染屋工房です。日本において古くから行われてきた植物染めを伝承し、自然に存在する草木花の中から美しい色彩を引き出して絹や麻、木綿、和紙などの自然素材を目的に合わせそれぞれに染めていきます。明治の近代化により、一時は化学染料を用いた染色を行っていましたが、四代目の吉岡常雄が植物染料を研究し、五代目を継いだ吉岡^{きちお}幸雄(1946-2019)が化学染料を一切使わない植物だけの染色を行うようになりました。現在は六代目となる吉岡更紗がその仕事を継承しています。

「染司よしおか」では、古社寺の行事と深く関わり、法隆寺の幡の復元、飛鳥・奈良時代に起源をもつ^{いたじめしぼり}板締絞の再現、奈良東大寺修^{しゆにえ}二会(お水取り)で飾られる植物染めの和紙で作られた椿の制作も手がけています。

五代目当主であり染織史家であった吉岡幸雄は数十年の年月をかけて平安時代の『源氏物語』五十四帖に描かれた衣装やその彩りを古法に倣い植物染料で再現し、微妙な色合いの「^{かさね}襲の色」を視覚化するなど、日本の伝統色を現代に伝える仕事も積極的に行っています。

本展では、工房で製作された四季を表した作品をはじめ、源氏物語で表現された衣装や天平時代の^{ぎがく}伎楽衣装の再現や復元、さらに代々の当主が蒐集してきた貴重な^{こぎれ}古裂類を展示します。

あわせて、関連講演会及び関連ワークショップを開催します。 1 展示・2 講座

2 教育普及事業(1事業)

(1) 「吉田千鶴子展(仮称)」関連ワークショップ **再掲**

(2) 「日本の色—^{そめのつかさ}染司よしおか 吉岡更紗の仕事(仮称)」展関連講演会・関連ワークショップ **再掲**

(3) 美術ワークショップ

「ワークショップ こどもアートクラブ」 1 講座

受託事業(1事業)※三鷹市からの受託事業

1 展示事業(1事業)

(1) アール・ブリュットみたか2025

共生社会の推進と障がい者の芸術文化活動の支援を進めるとともに、多様な芸術文化に触れられる機会の提供を行うため、アール・ブリュットみたか2025を開催します。さまざまな個性を持つ作り手の作品の展示等を、美術ギャラリーや桜井浜江記念市民ギャラリー等で行う予定です。

本事業は、令和6年度から芸術文化活動事業として、財団と三鷹市が連携し、アール・ブリュット連携協議会の主管で実施しています。財団は事務局機能を受託します。

美術部門合計4事業（令和6年度比1事業減）

文芸部門

<令和7年度の特徴>

- ★1 みたか井心亭文化事業において、華道体験教室を1回増やして開催し、井心亭や和風文化の魅力をさらに多くの市民等に発信します。
- ★2 山本有三顕彰事業において、休館中も出張展やイベントを実施し活動を継続するほか、復刊本を作成し、令和8年度の再開に向けた準備にも取り組みます。
- ★3 吉村昭顕彰事業において、沖縄戦80年にちなんだ企画展示で吉村昭を、芥川賞受賞60周年・三鷹市名誉市民推挙10周年を記念した企画展示で妻の津村節子を顕彰し、夫妻の業績や作品の周知に取り組みます。
- ★4 太宰治顕彰事業において、5周年を迎える太宰治展示室で、市所蔵の太宰治資料を公開するほか、弟子や孫弟子に受け継がれる太宰文学の精神について紹介します。

自主事業（みたか井心亭文化事業・3事業）

1 教育普及事業（3事業）

(1) 茶道体験教室

純和風数奇屋造りのみたか井心亭で、日本の伝統文化を体験する「茶道体験教室」を実施します。みたか井心亭で茶会を開催している三鷹市茶道連盟と連携してお茶を点（た）てる等の茶道の基本的な作法を体験する講座です。 6講座

(2) 夜のお茶をたのしむ会

炉と風炉の時期に合わせ、季節の風情、移り変わりを楽しむ茶会を平日の夜に開催し、井心亭の魅力を発信します。 2講座



(3) 華道体験教室 ★1

純和風数奇屋造りのみたか井心亭で、日本の伝統文化を体験する「華道体験教室」を実施します。みたか井心亭の迎え花の生け込みを委託している三鷹市華道連盟と連携して生け花の基本形を学び、伝統文化への理解を深めます。 4講座

指定管理事業①（山本有三顕彰事業・7事業）

1 展示事業（2事業）

(1) 三鷹市山本有三記念館 出張展（仮称） ★2

令和7年度は空調工事実施に伴い、休館が予定されているため、三鷹市芸術文化センターにおいて、市の文化財である記念館または山本有三に関する出張展を行います。

1展示

(2) 復刊本製作事業

山本有三記念館文庫として復刊している文庫本「波」の再販と、令和8年度の企画展において取り上げる予定の「風」を収録した新たな復刊本の製作に取り組みます。

2 教育普及事業（5事業）

(1) ガイドボランティア事業

山本有三の生涯や作品、文化財である建物について来館者の理解を深めるため、登録ボランティアによるガイドを実施します。また、休館中はガイドの資質向上・維持のための見学会及び研修会を行います。 2講座

(2) 朗読コンサート **財団30周年記念事業**

大正末期の建物の風情を生かし、山本有三作品の朗読と作品の雰囲気に合わせて楽器とのコラボレーションが楽しめる朗読コンサートを2夜連続で実施します。また、財団30周年記念事業として、三鷹ゆかりの文学者の作品を題材とした朗読コンサートを星のホールで合同開催します。 3公演



(3) 夏休み子どもワークショップ 「文選」おしごと体験～「活字」を組み合わせて「ドット文字」をつくってみよう～（仮称）

夏休み中の小学生を対象に、山本有三作品「路傍の石」の主人公吾一が経験した文選の作業を体験することで、作品が身近に感じられるワークショップを実施します。

1講座

(4) おはなし会

「子どもたちに本を」との思いからミタカ少国民文庫を開設するなど、子どもたちの読書環境の充実に尽力した山本有三の遺志を継承し、未就学児を対象としたおはなし会を実施します。 2講座

(5) アフタヌーン・ミニコンサート

山本有三記念館の施設の周知と来館者の増加を目指し、来館のきっかけづくりとして、MJ0と連携し、ミニコンサートを開催します。 1公演

指定管理事業②（吉村昭顕彰事業・7事業）

1 展示事業（2事業）

(1) 企画展示① 「沖縄戦 80年 吉村昭「殉国」からみた戦史小説」（仮） ★3

沖縄戦から80年。吉村昭の沖縄戦を題材とした「殉国」を中心に、戦史小説の世界を伝えます。令和5年度にレプリカ製作した「戦艦武蔵」や田村茂氏撮影「武蔵建造」関連写真、直筆原稿「殉国」（日本近代文学館蔵）等の資料とともに、その作品に対する吉村の思いを紹介します。 1展示

(2) 企画展示② 「芥川賞受賞60周年・三鷹市名誉市民推挙10周年記念 津村節子の作品世界」（仮） ★3

芥川賞受賞60周年・三鷹市名誉市民推挙10周年を記念して、津村節子「玩具」（芥川賞受賞）を紹介し、夫・吉村昭と同じ文献を使用した「流星雨」（女流文学賞受賞）や「智恵子飛ぶ」（芸術選奨文部大臣賞受賞）から、その作品の魅力を伝えます。また、井の頭や玉川上水について描写されている「紅梅」（菊池寛賞受賞）の直筆資料を展示し、三鷹との関係性を紹介します。

1展示



2 教育普及事業（5事業）

(1) 朗読会（交流棟活用）

三鷹市吉村昭書斎交流棟にて、朗読家・俳優・アナウンサーなどを招いて、吉村作品に親しむ朗読会を実施します。 2公演

(2) 句会（茶室活用） **新規**

吉村昭・津村節子が句会を開いていた茶室を活用し、吉村夫妻の俳句に触れながら、自身で俳句を作る体験をする句会を実施します。 1講座

(3) 講演会

井の頭コミュニティ・センターや三鷹駅前施設にて、吉村昭の関係者や出版・編集関係者、作品研究者、作家などを講師に招いて、吉村昭の人柄や作品に親しむ講演会を実施します。 1講座

(4) 地域連携事業 **新規**

井の頭コミュニティ・センターや井の頭地区公会堂にて、「三鷹市吉村昭書斎」を紹介し、地域の方を中心とした多くの市民等に吉村昭・津村節子の作品の魅力を発信します。 1展示

(5) ガイドボランティア事業

吉村昭・津村節子の生涯や作品、移築した書齋について、来館者の理解を深めるため、登録ボランティアによるガイドを実施します。また、ガイドの資質向上・維持のための見学会及び研修会を行います。 2 講座

受託事業（太宰治顕彰事業・6事業）※三鷹市からの受託事業

1 展示事業（3事業）

(1) 企画展示① 太宰治資料展（仮）（太宰治展示室） ★4

太宰治展示室は開室から5年を迎えます。兆しとなった「津島家寄託資料」や「山内祥史文庫」などに加え、開室後に寄贈・寄託された「石井立文庫」、「鯨崎家寄託資料」や「佐藤佐旧蔵資料」、さらには三鷹市が購入した直筆原稿など、太宰治顕彰事業のあゆみを物語る太宰治資料を一堂に公開します。前期、後期に分け、展示替えをすることで市の財産である太宰治資料を一点でも多く公開します。 1 展示

(2) 企画展示② 「三鷹奇譚」—小山清と田中英光・太宰治といたあの日（太宰治展示室） ★4

太宰治の弟子 小山清は、令和7年に没後60年を迎えます。昭和20年4月2日の三鷹空襲を太宰治、田中英光と体験し、太宰の疎開後は三鷹の自宅で留守番役を務め、編集者からの原稿依頼や受渡など、秘書のような役割を果たした重要な人物です。太宰と過ごした日々を「三鷹奇譚」や『太宰治』に書き連ね、幾度も芥川賞候補となった小山の精神は弟子 宮原昭夫から孫弟子にあたる村田紗耶香らが受け継ぎ、いずれも芥川賞を受賞しています。現代に脈々と継がれる太宰の系譜についてもスポットを当てます。 1 展示

(3) ブックカフェ機能を有する太宰治文学サロンの運営（太宰治文学サロン）

市の寄託資料「山内祥史文庫」の研究書を開架し、太宰治に特化した読書スペースを提供します。また、太宰珈琲や太宰クッキーなどの市内業者が製造した食品を扱うことでカフェ機能を継続し、来館者とガイドボランティアの情報交流の場とします。引き続き、来館者の要望に応じた駅前周辺の太宰治ゆかりの地へのガイドボランティアによる案内を実施し、来館者満足度の維持に努めます。 1 展示

2 教育普及事業（3事業）

(1) 太宰治作品朗読会（太宰治文学サロン）

朗読家・俳優・アナウンサーなど多彩な出演者を招いて、月例の太宰治作品朗読会を実施します。 12 公演



(2) **ガイドボランティア事業（太宰治文学サロン）**

みたか観光ガイド協会と協働で、来館者を三鷹駅周辺及び近隣にある太宰ゆかりの地へ案内します。また、太宰治展示室（美術ギャラリー）への誘導を促し、2館の回遊性を高めます。 1 講座

(3) **みたか太宰治作品倶楽部（太宰治展示室）**

指定の太宰作品を事前に読んだ参加者が集まって作品の感想を自由に述べ合い、太宰文学の新たな魅力を発掘する読書会を実施します。太宰と弟子が書齋で交わした文芸談義を疑似体験できる、三鷹ならではの企画です。 1 講座

文芸部門合計 23 事業（令和 6 年度比 2 事業減）

その他芸術文化部門

<令和7年度の特徴的な取組等>

- ★1 三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリーにおいて、秋季に桜井浜江の故郷である山形の山形美術館から絶筆を借用し、「桜井浜江後期作品展」を開催します。また、一般利用の促進に向けた広報活動を行います。

自主事業（2事業）

1 教育普及事業（2事業）

(1) 三鷹市芸術文化センター全部見てくださいツアー

芸術文化センターを身近に感じるきっかけづくりのためのバックステージツアーです。星のホールや客席の反転や風のホールのピアノの音の聞き比べ、音楽練習室や美術創作室の見学など、芸術文化センターを全て見ていただきます。 2講座



(2) 三鷹市公会堂探検ツアー

公会堂を身近に感じ、舞台の仕事に興味を持っていただくきっかけづくりのためのバックステージツアーです。普段見ることのない音響や照明の部屋を回り、奈落を見学したり影マイクに挑戦したりします。

また、参加者が照明卓を操作し、好きなBGMに合わせて、自分のイメージした色の照明を作るといった体験コーナーもあります。 2講座



指定管理事業（1事業）

1 展示事業（1事業）

(1) 桜井浜江企画展事業 ★1

三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリーにおいて、桜井浜江の後期作品展及び三鷹市在住の日本画家・作家である米谷清和が30年前にニューヨークで描いたスケッチ展を開催します。 2展示

その他芸術文化部門合計3事業（令和6年度比増減なし）

生涯学習事業

<令和7年度の特徴>

- ★1 生涯学習講座事業では、元気創造プラザ全館融合事業の一環として元気創造プラザ連携講座を実施します。令和7年度は社会福祉協議会と連携し、生涯学習センターの利用者の拡充を図ります。
- ★2 学習スペース開放事業では、利用のニーズに合わせて、開放場所を拡充し、個人利用の促進を図ります。
- ★3 「子どもふらっとプレイス事業」では、見守りボランティアを募集し、多世代交流を図りながら、子どもの居場所づくりを実施します。
- ★4 生涯学習人財バンク「まちの先生」を活用した、まちの先生講座を開催し、市民の活躍の場を広げます。

自主事業（8事業）

1 生涯学習講座事業 ★1

市民自らがそのライフスタイルやライフステージに沿った学びを通じて、豊かな心を育み、また学んだことを地域に返し、生かしていくという「学びと活動の循環」や、人とのつながりを創出するため、地域学や趣味・教養などの講座を開催します。

- ① みたか学（「SUBARU星空観望会～SUBARUの中心ですばるを観よう！」や「三鷹まるごと博物館」と連携した講座等の実施） 4講座
- ② 芸術文化講座 2講座
- ③ 人財養成講座（古文書、花壇サポーター養成） 2講座
- ④ 元気創造プラザ連携講座 1講座
- ⑤ 趣味・教養講座 10講座

2 小・中学生向け講座事業

小・中学生が、好奇心や興味を高める体験型の講座を開催します。

- ① 陶芸講座 1講座
- ② 三鷹市芸術文化協会連携講座 1講座
- ③ ネーミングライツ企業連携講座 1講座
 - ・ラジオ工作教室（協力：日本無線株式会社）
- ④ 市民大学ジュニアキャンパス 2講座
- ⑤ 文化・教養講座 1講座



「芸術文化協会連携講座はじめてのバレエ」

3 生涯学習センターフェスティバル開催事業

「生涯学習センターフェスティバル」を三鷹中央防災公園・元気創造プラザまるごとウェルカムデーと同時開催します。生涯学習グループの活動内容や生涯学習センター主催事業を周知することにより、グループの活性化や生涯学習センターの利用促進を図ります。 2日間

4 夏休み自主学习スペース開放事業

学校の夏休み期間に合わせ、生涯学習センターの学習室を学生等の自主学习スペースとして開放し、若い世代の生涯学習センターの利用を促進します。

(期 間) 7月20日から8月31日まで

(開放時間) 午前9時から午後9時まで

5 学習スペース開放事業 ★2

個人の学習スペースを毎日開放します。

(開放時間) 平日は午後3時45分から午後9時まで

土日・祝日は午前9時から午後9時まで

※夏休み自主学习スペース開放事業の実施期間中は、実施しません。

6 子どもふらっとプレイス事業 ★3

小中学生対象の放課後の居場所づくりと多世代交流を目的とした、子どもふらっとプレイス事業を実施します。子どもたちが気軽に遊び感覚でふらっと立ち寄り楽しめる体験プログラムとフリースペース（ゲームで遊ぼう）を月1回（8月を除く）水曜日の午後3時から5時まで実施します。

7 三鷹市芸術文化協会事務局事務事業

三鷹市芸術文化協会事務局の事務を行います。

8 財団30周年記念特別講演事業 財団30周年記念事業

スポーツと文化財団の30周年を記念して、生涯学習センターフェスティバルで開催している特別講演を対面のほかオンライン・オンデマンド配信で実施します。

指定管理事業（2事業）

1 市民大学事業

(1) 総合コース

「学習の主体は市民にある」という理念の下、市民自らが主体となって地域課題や生活に根差した学習課題などを話し合い、講座を企画・運営します。学習生同士で議論し合うゼミナール形式による年間継続学習を通して仲間をつくり、その学びの成果

を地域や生活の場に生かすため発表等の機会を拡充します。市民ニーズに対応するため公開講座をオンデマンド配信します。 5講座（各30回）

(2) 一般教養コース

講義を中心に、基礎的な知識・教養を習得し、自分の生活課題と社会的問題を結び付ける視点を身に付け、地域社会における自分の生き方を探ります。

- ① むらさき学苑（60歳以上対象） 1講座（全30回）
- ② 子育て講座 2講座（各5回）



「子育て講座」

(3) 市民講師養成コース

生涯学習の推進役として自らが生涯学習を通じて学んだことを地域に還元する市民講師を養成します。また、生涯学習人財バンク「まちの先生」を活用した、「まちの先生講座」を開催し、市民の活躍の場を広げます。

- ① 市民講師養成講座 1講座（全6回）
- ② 市民講師デビュー講座 3講座（各1回）
- ③ まちの先生講座 新規 1講座 ★4

2 生涯学習相談事業

生涯学習相談員を中心に市民や学習グループが持つ様々な要望や悩みに対する相談業務を行うとともに、市及び関係団体との連携を通じて市民の学びと活動を支援するコーディネート機能の向上を図ります。

毎週火曜日～土曜日

生涯学習事業合計 10 事業（令和6年度比 1 事業増）

広報宣伝・友の会事業

<令和7年度の特徴>

- ★1 広報紙（Mitaka Sports and Culture News）において、事業紹介の視覚効果を高めるために特色1色のみの裏面をカラー4色に変更し発行します。
- ★2 山本有三記念館の空調工事後のリニューアルオープンに向けて、山本有三『風』復刊本を新規に製作し、『波』復刊本を再製作します。

自主事業

1 広報宣伝事業

- ① 情報誌（MARCL+）の発行（7,000部 年6回発行）**財団30周年記念事業**
スポーツ・芸術文化・生涯学習の事業を掲載した冊子の発行。出演者のインタビュー等も取り入れ、魅力的な誌面を提供します。また、財団設立30周年を記念して誌面を増やした特別号を発行します。
- ② 広報紙（Mitaka Sports and Culture News）の発行（160,000部 年6回発行）
市内全戸配付・近隣市区新聞折り込みにより、財団の事業を広報します。 ★1
- ③ 小田急バス（武蔵境及び吉祥寺営業所管内全バス）車内中吊りポスターの掲出
- ④ 財団ホームページやX（旧ツイッター）、メールマガジンを活用した事業のPR
- ⑤ 出演者インタビュー・担当者による事業紹介動画を財団ホームページ上で配信
- ⑥ 三鷹市報への事業掲載、プレスリリースほか
- ⑦ チケットプレゼント（音楽・演劇・美術・文芸）**財団30周年記念事業**
令和7年度に開催する公演や展覧会のチケットを抽選によりプレゼントします。

2 友の会運営事業

会員の新規募集及び管理運営（個人会員約3,500人、グループ会員5団体）

3 物品販売事業

- ① 財団オリジナル商品の販売及び山本有三・太宰治に関連した商品の受託販売
- ② 山本有三グッズ（復刻本）の製作 ★2

施設管理・全館融合事業

＜令和7年度の特徴＞

- ★1 山本有三記念館が、空調工事のため令和7年5月から令和8年4月まで臨時休館します（予定）。
- ★2 令和7年4月より新たに三鷹市井口グラウンドの指定管理者の指定を受け、令和7年7月より施設運営を開始します。また、三鷹市大沢総合グラウンドでは、サッカー・ラグビー場と新規開放エリアの整備工事のため、一定期間一部施設の開放を中止します。（予定）

指定管理事業（14事業）

三鷹市が設置した下記施設のそれぞれの条例、条例施行規則等に基づき、指定管理者として、利用者の安全性の向上を図るために施設、設備の適切な維持管理に努めるとともに、利用者サービスの向上に持続的に取り組みます。

指定管理施設	指定管理期間
三鷹市芸術文化センター	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）
三鷹市公会堂	
三鷹市美術ギャラリー	
みたか井心亭	
三鷹市山本有三記念館 ★1	
三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー	
三鷹市吉村昭書斎	令和5年9月1日から令和8年3月31日まで（2年7か月間）
SUBARU 総合スポーツセンター *1	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年間）
三鷹市新川テニスコート	
三鷹市大沢総合グラウンド ★2	
三鷹市生涯学習センター	
三鷹中央防災公園	
三鷹市大沢野川グラウンド	令和5年2月1日から令和9年3月31日まで（4年2か月間）
三鷹市井口グラウンド ★2	令和7年4月1日から令和9年3月31日まで（2年間）

*1 SUBARU 総合スポーツセンターは、弓道場・アーチェリー場を含む。

受託事業（2事業）※三鷹市からの受託事業

1 太宰治文学サロン管理運営業務 再掲

太宰治を通じ多くの市民が訪れ、交流できる拠点として運営します。

2 太宰治展示室管理運営業務 再掲

太宰治の自宅の一部を再現したスペースにおいて、様々な資料の展示を行うなど太宰治を顕彰する拠点として運営します。

3 元気創造プラザ施設管理業務

元気創造プラザの三鷹市直営施設部分及び共有部分の管理業務（設備管理業務、清掃業務、受付案内業務等）について効率的な管理運営を行います。

4 元気創造プラザ全館融合業務

元気創造プラザ全体として組織を超えた関係性の編み直しと市民に居心地の良い居場所づくりのため、全館融合イベントを開催するとともに一体的な施設運営を進めます。

受託業務	受託期間
太宰治文学サロン管理運営業務 再掲	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで（1年間） （予定）
太宰治展示室管理運営業務 再掲	
元気創造プラザ施設管理業務	
元気創造プラザ全館融合業務	

財団 30 周年記念事業

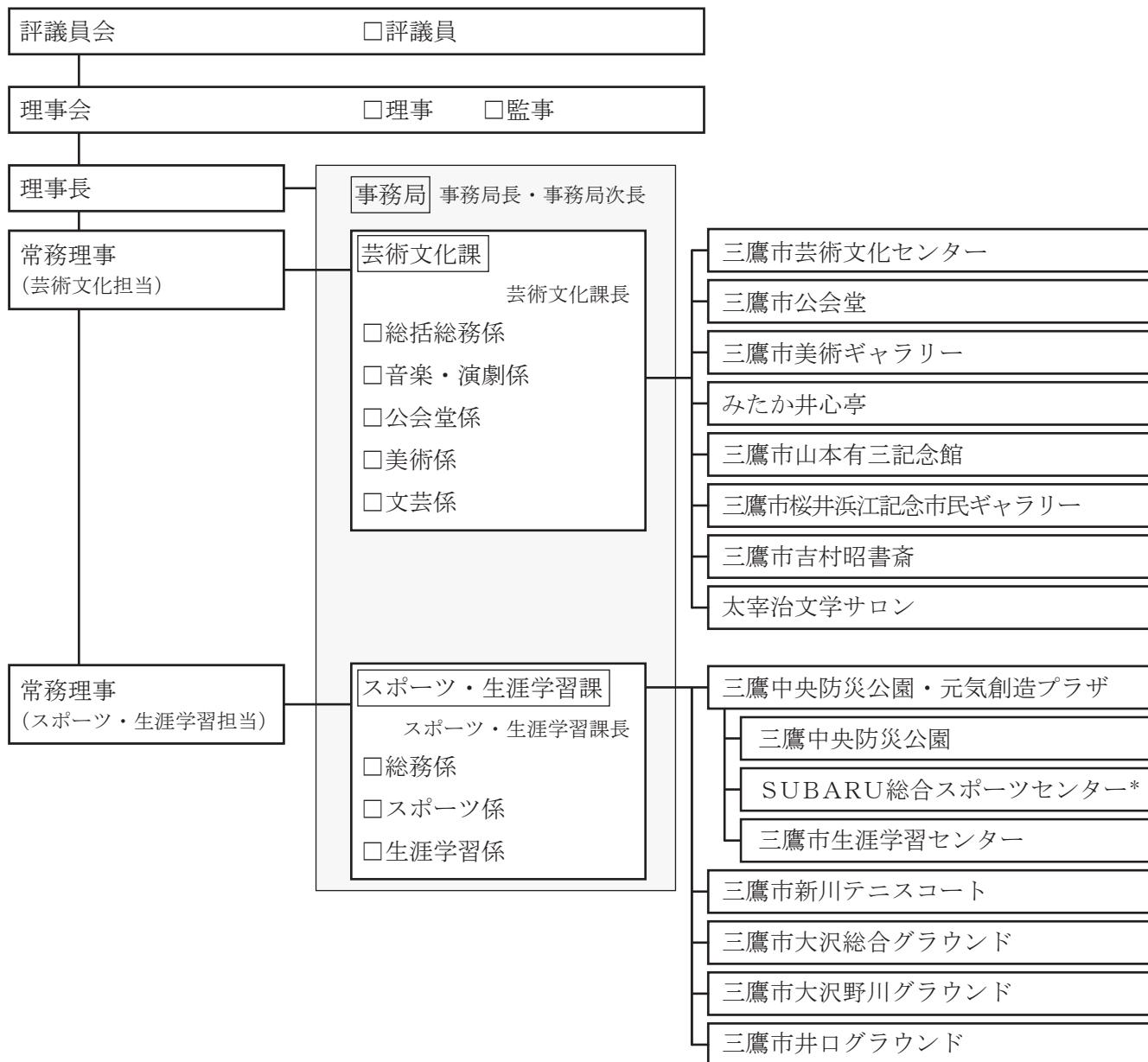
スポーツ事業	内容
特別スポーツ教室	オリンピックに出場経験のあるアスリートを招き特別スポーツ教室を実施します。
<u>スポーツ解説者による講演会</u>	<u>スポーツの解説、実況に定評のある著名な解説者による講演会を実施します。</u>

芸術文化事業	内容
トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア公演	定期開催している「モーツァルトピアノ協奏曲全曲演奏シリーズ」において、沼尻竜典氏とゲストピアニストの2台のピアノとオーケストラによる「ピアノ協奏曲第7番K.242」を演奏します。
みたかジュニア・オーケストラ特別コンサート	令和6年度に結団25周年を迎えたみたかジュニア・オーケストラによる特別コンサートを星のホールで開催します。
<u>江戸系あやつり人形劇団「結城座」公演</u>	<u>芸術文化センターのこけら落とし公演に出演した団体による再演企画。公演日は、芸術文化センター開館記念日の11月3日を予定しています。</u>
三鷹ゆかりの文学者 朗読コンサート	これまで個別に行われていた三鷹ゆかりの作家たちの作品朗読会を、音楽を交えながら星のホールで合同開催します。
チケットプレゼント（音楽・演劇・美術・文芸）	令和7年度に開催する公演や展覧会のチケットを抽選によりプレゼントします。

生涯学習事業	内容
特別講演会	生涯学習センターフェスティバル開催に合わせて、三鷹にゆかりのある著名なゲスト講師による特別講演会を実施します。

その他事業	内容
広報	情報誌「MARCL+」のページ数を増やした特別号を発行します。30周年記念のロゴマークを広報物に載せて設立30周年をPRします。

公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団組織図（案）



* SUBARU総合スポーツセンターは、
弓道場・アーチェリー場を含む。